

2026 年度 学校関係者評価

日 時： 2026 年 6 月 18 日（木）18：45～19：30

場 所： 上福岡高等看護学院 会議室

出席者： 理事長、学院長、副学院長、教務主任、学校関係者評価会構成員 4 名、事務長

《評価方法》

- ・学校評価は厚労省が提示する「看護師等養成所自己点検・自己評価指針」を基に作成した評価項目について、学生と教員にアンケート（3 段階評価）を行い評価した。

- | |
|---|
| 3 基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている
2 概ね基準を満たしている
1 基準を満たしておらず改善が必要 |
|---|

評価項目（厚生労働省 専門学校の自己点検・自己評価項目を抜粋）

①学生…30 項目

②教員…112 項目

大項目 (教員アンケート NO)	アンケート項目数	
	学生	教員
I 教育理念・教育目的 (NO. 1～11)	2	11
II 教育目標 (NO. 12～16)	1	5
III 教育課程経営 (NO. 17～52)	8	31
IV 教授・学習・評価過程 (NO. 53～63)	10	11
V 経営・管理過程 (NO. 64～99)	5	36
VI 入学 (NO. 100～101)	1	2
VII 卒業・就業・進学 (NO. 102～109)	0	8
VIII 地域社会 (NO. 110～116)	3	6

《大項目に対する質疑応答》

III 教育課程経営 (NO. 17～52)
1. 学生による学校評価結果 ○3 学年を合計した「1」の数は、No.20(21)「国家試験対策」、No.10(21)「臨地実習指導者と教員の協働体制」、No.24(20)「施設や設備の整備」の順に多い。()人数。 対策 1) 国家試験に向け、学生自身で目標を設定し実施・評価するよう支援する。(実施中) 2) 実習指導者と教員の役割を明確にした表を提示する。(指導者会で周知予定)
2. 教員による学校評価結果 ○No.40「教員が授業準備のための時間をとれる体制」について、3 年課程（全日制）への変更に伴う授業時間数の増加が負担感の一因と考えられる。 対策 1) 現行のカリキュラムを評価し、カリキュラムのスリム化を図った。(R8.4) →学生の主体的学習の推進だけでなく、教員の負担感の軽減も期待できる
質問：なし コメント：継続して状況をみて、アンケートに出た意見には応えてほしい。

IV 教授・学習・評価過程 (NO. 53～63)	
1. 授業評価 ○今年度はアンケート評価をプレテストとして行った。評価項目 10 項目について 4 段階評価を行い、すべての項目の平均が 3.0 以上の結果となった。この結果は、一部の授業の結果であるため参考値にすぎない。次年度は、すべての授業を対象にアンケートによる評価を行う。	
2. 学修評価と学生数 ○3 年生、入学時人数から留年及び退学により減った人数が 20%以上であった。退学の理由の多くは進路変更であり、留年の理由は未修得単位 3 単位以上であった。 ○2 年生 19%、1 年生 7%と年々減少している。 対策 1) 計画的な学習支援 2) 主体的な学習姿勢の育成	
質問：成績のことで三者面談を行っているか。ぜひ、行ってほしい。 回答：単位未修得の学生に三者面談を行い、状況説明し今後の学習支援を提案している。家族の協力を求めている。	
V 経営・管理過程 (NO. 64～99)	
No.93、94 について、学院の将来構想、中・長期計画等を検討していく。	
質問：なし コメント：中期・長期の計画は難しい。まずは学生を確保しなければ、将来の構想は立てられない。全国で唯一、「午後から授業を行う 3 年課程」の学校として、募集活動を行う地域を全国へと拡大してはどうか。 回答：検討していきます。	
VI 入学 (NO. 100～101)	
No.101 について、学生確保は定員に達するよう継続して入学者選抜方法等を検討していきたい。	
質問：総合型選抜を今年度から開始して、受験者は増えるだろうか。 回答：大幅な増加は望めないかと思うが、期待している。	
VII 卒業・就業・進学 (NO. 102～109)	
No.102、103 より、ディプロマポリシー（卒業認定の方針）に沿って評価方法を明確にしていく。	
コメント：学生の学校への要望等が可視化された。意見を聴いてくれるという安心感が得られたと思う。意見に対して対策を立ててほしい。 回答：今後、卒業生にもアンケートを行い、教育の質の向上に向けて改善していきたい。要望には応える様に努力いたします。	

《今後の課題と対策》

- (1) 学生確保に対して、募集活動する地域の拡大を図る。
- (2) 国家試験へ向かう姿勢づくりに対して、対策の方針やスケジュールの周知・徹底を図る。
- (3) カリキュラム評価に対して、ディプロマポリシー（卒業認定の方針）に沿った評価方法の確立。